

授業科目名	老年看護Ⅱ	担当者	松本 淳子
単位	—		
時間数	22時間	学年	2学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	老化と疾病・障害の程度に応じた看護に必要な知識・技術・態度を学ぶ。		
授業の概要	<p>老年期の対象は疾病の後遺症や生理的老化などによる何らかの障害を持ちながら生活している。そうした対象がもてる能力を最大限に生かし、より健康に自立した生活を送るための援助の方法を学ぶ。</p> <p>老年期の疾患や障害は長期に亘り、また廃用症候群も引き起こし日常生活に大きな打撃を与えやすい。そのため慎重かつ十分な観察や情報収集を行い、全人的な看護が必要となる。老年期の個々の対象の状態、能力に応じた援助の方法を学ぶ。</p>		
授業計画	<p>第5章 高齢者の病態・疾患と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い疾患とその特徴 ・系統別にみる症状・疾患と看護 <p>第6章 治療・処置を受ける患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来受診をする高齢者の看護 ・検査を受ける高齢者の看護 ・薬物療法を受ける高齢者の看護 ・入退院を必要とする高齢者の看護 ・手術を受ける高齢者の看護 ・救急対応を要する高齢者の看護 <p>第7章 高齢者が豊かに生きるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の看護 ・高齢者のリハビリテーション ・高齢者のセクシュアリティ ・アクティビティケア ・エンドオブライフケア <p>第8章 高齢者の在宅療養と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護の概念と実際 ・在宅療養を支える看護 ・在宅療養者の家族への看護 		
テキスト	新看護学13 老年看護 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		